

「JENESYS2.0」**中国食品衛生関係者代表团****訪問日程 平成 28 年 3 月 23 日（水）～3 月 30 日（水）****1 プログラム概要**

中国国家質量監督検閲検疫総局が派遣した中国食品衛生関係者代表团計 30 名が、3 月 23 日から 3 月 30 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。（団長：于文軍（ウ・ブンゲン）中国国家質量監督検閲検疫総局 輸出入食品安全局 副巡視員）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、代表团は、東京都をはじめ、神奈川県、栃木県を訪問し、厚生労働省や食品加工企業など食品衛生分野に関する訪問・交流・視察を行ったほか、世界遺産や防災施設の見学、温泉体験など、様々なプログラムを通じて包括的な対日理解を深めました。

2 日程**3 月 23 日（水）**

羽田空港より入国、日本科学未来館見学、オリエンテーション

3 月 24 日（木）

日本水産（株）八王子総合工場・東京イノベーションセンター訪問、歓迎会

3 月 25 日（金）

厚生労働省による講義、東京都中央卸売市場大田市場視察、東京タワー見学

3 月 26 日（土）

国会議事堂視察、東京臨海広域防災公園見学、浅草見学、小石川後樂園見学

3 月 27 日（日）

アサヒビール神奈川工場訪問、いちご狩り体験

3 月 28 日（月）

栃木県へ移動、ハウス食品（株）関東工場訪問、商業施設視察、和風温泉旅館での日本文化体験

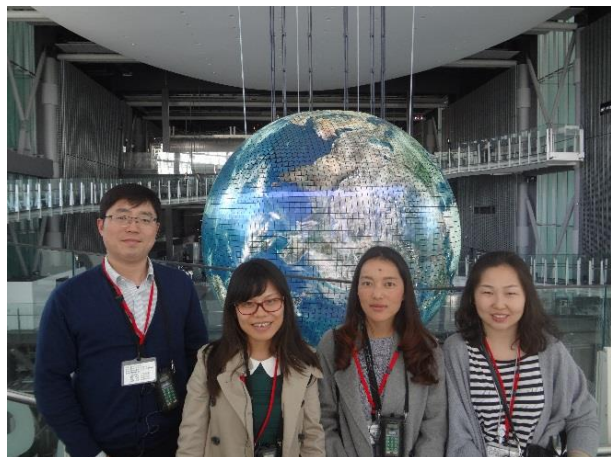
3 月 29 日（火）

日光東照宮見学、華厳の滝見学、東京都へ移動、歓送報告会

3 月 30 日（水）

羽田空港より帰国

3 写真



3月23日 日本科学未来館見学(東京都)



3月24日 日本水産(株)八王子総合工場訪問(東京都)



3月24日 日本水産(株)東京イノベーションセンター訪問(東京都)



3月24日 歓迎会 有馬裕外務省アジア大洋州局 中国・モンゴル第一課長挨拶(東京都)



3月24日 歓迎会 于文軍団長挨拶(東京都)



3月25日 厚生労働省による講義(東京都)



3月25日 東京都中央卸売市場大田市場視察
(東京都)



3月25日 東京タワー見学(東京都)



3月26日 国会議事堂視察(東京都)



3月26日 東京臨海広域防災公園見学(東京都)



3月26日 小石川後楽園見学(東京都)



3月26日 浅草見学(東京都)



3月27日 アサヒビール神奈川工場訪問
(神奈川県)



3月27日 いちご狩り体験(神奈川県)



3月28日 ハウス食品(株)関東工場訪問
(栃木県)



3月29日 日光東照宮見学(栃木県)



3月29日 華厳の滝見学(栃木県)



3月29日 歓送報告会 訪日成果報告(東京都)

4 参加者の感想（抜粋）

○ 今回の訪問で最も印象深かったのは、日本の食品メーカーの品質管理が非常に厳しく、従業員の業務執行能力がとても高かったことだ。従業員はそれぞれ決められた要求に則って自分の仕事をこなし、求められる項目全てを一定のレベルで達成していた。真面目で厳しい従業員は企業にとってかけがえのない財産だ。このような真面目さや緻密さは、尊い民族性の一つとして、日本人一人一人の中に染みついている。

帰国したら、今回、輸入食品に対する日本の関連措置について学んだことを、日本向けの輸出を行っている企業に伝えたい。日本人の真面目さも企業の管理職層に伝えたいし、日本の文化や美食の数々を友人たちにも教えたい。

中日両国は源を同じくする文化を持つ、一衣帯水の隣国だ。中国人と日本人の友好が今後、ある要因の影響を受けることなく、子々孫々まで続くことを願っている。

食品の安全は、世界が力を合わせて取り組むべきだ。

○ 日本は友好的な国で、国民は秩序ある生活を送り、友好的で、全体的に一般的教養も高く、みんな穏やかだ。環境を大切に、環境保護事業にも力を入れている。7日間の滞在中に、日本水産、アサヒビール、ハウス食品といった食品メーカーを視察し、日本企業の食品衛生面に関する要求や安全措置をこの目で見る事ができた。厚生労働省や農林水産省でのブリーフでは、日本で施行されている食品衛生法の内容や、輸出入食品・農作物の年間の需要について知ることができた。中国に帰ったら、管轄している食品輸出企業に日本が有する優れた経験や方法を伝え、両国を比較して、中国が状況を改善する上で有益な部分を取り込めるようにしたい。世界の食品衛生事業に対して自分ができる最大限の力を尽くしたいと思うし、当然それ以上に、日中両国の貿易が互いの信頼にもとづき、無事に発展していくことを願っている。

○ このような機会を与えて下さった日本の皆さんに感謝する。有り難いことに、日本の文化と魅力を直に体験することができた。日本滞在の6日間は毎日が充実していて、日々異なる体験をすることができた。印象深かったことは下記の通りだ。

1. 美しく清潔で、公衆トイレですら汚れていない
2. 食については、ヘルシーであることと視覚で楽しむことを重視している
3. 日本企業の法律遵守の意識と強い自発性
4. 食品加工業の高い機械化と人的労働力の少なさ
5. 国全体の環境保護意識。細かなゴミ分類や、生産加工過程における企業の環境保護への配慮。汚染軽減、廃棄物回収・リサイクル等への取り組み
6. 食品安全監督管理の制度と完全なシステム

以上が、主に感じたことだ。もちろん、他にも感想はたくさんある。帰国したらそれらも全て、周りの人にシェアしたい。

ありがとうございました！

○ 日本政府が食品の安全のために行った努力と措置について理解が深まった。日本を代表する大手食品メーカーが実施している食の安全・衛生のための措置や管理方法を現場で視察し、今後役に立つ知識を得ることができた。科学技術面での先駆的な試みと、基礎的な科学技術研究に後押しされた管理レベルの高さ、そして先進的なテスト工程に驚いた。中国も今後、もっと科学技術の力を使って監督管理レ

ベルを引き上げることを望む。

○ 日本は高度に現代化した国で、日常の中の細かなところにも、魅力ある科学技術が潜んでいる。日本の一般市民は皆友好的で、礼儀正しく、日本人の伝統文化を体現しているようだった。日本は都会であろうと田舎であろうとキレイで清潔だ。道路や建物、自動車の上にはホコリー一つなく、どこに行っても快適に過ごせる。初めて日本を訪れて、独特の自然を味わった。高くそびえる雪山や急な河流、勢いよく落ちる滝、温かな温泉、広大な森は、全て大自然が日本に与えたギフトだ。中日の文化は、源を同じくし、密接なつながりを持っている。日本の至る所で中華文化の繁栄を感じることができたし、既に日本人の血の中にも溶け込んでいると思う。中日両国は一衣帯水の隣国であり、隣国は選ぶことはできない。今回の交流をきっかけに、一人の中日交流の使者として、この一週間日本で見たことや聞いたことを家族や友人、同僚たちに伝えたい。私の報告を通して、彼らは新たな日本に出会うことができると信じている。

最後に、中日の世代にわたる友好を願っている。近い将来、妻を連れて再び日本を訪れたいと思う。

○ 日本側が選んだ企業は、いずれも 100 年以上の歴史を有する中規模以上の企業だった。優れた品質の商品を生み出すことを自社の社会的責任と捉え、企業イメージと信用を終生守り抜くことを目標に掲げていることに、深い感銘を受けた。特に、日本企業には匠の精神が宿っていると感じた。どの製品も細部まで磨きをかけ、基礎と規格をしっかりと守ることを品質第一の基本としている。また、東京臨海広域防災公園を視察して、日本の高度な市民教育とその持続性に衝撃を受けた。国民の生きる権利を第一にしてこそ、人々の心に国への共感が生まれる。災害を未然に防ぐ意識が子供たち一人一人にも無意識のうちにすり込まれ、生命を慈しみ、環境を大切にし、持続可能な発展を続けることがきわめて重要だと考えるようになる。

○ 印象深かったこと

1. 日本人は礼儀正しい。その態度は知らない人に対しても変わらず、感動的だ
2. 日本の製品は、品質は一流で価格は手ごろ。経営は信用第一
3. 日本政府の秩序のある管理と、清潔で整備された街の姿
4. 日本企業の自律性の強さ、品質基準の厳しさ、生産技術の先進性
5. 日本人の英語レベルがおしなべて低いこと。これは日本語に外来語を導入しすぎたことと関係している。一般市民とはほぼ交流する術がなく、若者の英語も何を言っているのか分からない。残念ながら、交流のためのツールを 1 つ失っている
6. 日中友好会館の日中友好促進のための仕事ぶりに深く感動した
7. 日本人の極度の勤勉さ

帰国したら、自分自身の経験をもって、日本の文化や友好の気持ちを周りに伝えたい。国内に存在する、戦争が招いた誤った認識と、偏見を是正していきたい！